

〈みんなで頑張りよう！感染症対策〉

「自分たちのために 家族のために 地域のために 医療従事者のために」

○登校前

- ・家で必ず検温し、健康観察カードに記入をする。
- ・朝、体調が悪かったら必ず休む。絶対無理をしない。医療機関へ行って診てもらう。
- ・家族に体調不良者（風邪症状等）がいたら、本人は大丈夫でも休む。（警戒度2以上の場合）

○登校時

- ・マスクについては、友達との会話がないうなら外してもよい。必要な時のために、ポケットにマスクは入れておく。学校に着いたらマスクをする。
- ・玄関で手指消毒をする。もし、家での検温を忘れてしまった場合は、教室に行く前に玄関のサーマルカメラで測る。
- ・スクールバスを利用する人は、待っている間や乗車中はしゃべらない。できるだけ間隔をあけて乗車する。

○給食時

- ・準備中、食事中ともに静かにする。絶対におしゃべりはしない。
- ・準備中は手洗い後、出歩かず自席で座って待つ。（学習や読書など）
- 給食後はすぐにマスクをして、静かに待つ。（全員が食べ終わるまでおしゃべりはしない。）

○掃除

- ・マスクをして、話をしないで掃除を行う。掃除終了後、必ず手洗いをして教室に戻る。

○授業中

- ・教室内ではマスクを着用する。
- ・常時換気する。雨風が強い日でも廊下側は締め切りにしない。CO2モニターの値が1000ppmを超えたら換気する。
- ・感染リスクの高い活動は控えるが、感染予防をして行えるものは実施する。（県の警戒度が高くなった場合は、活動時間や会話を最小限とする。）
- ・サーキュレーターを使用し、部屋の空気を循環させる。
- ・体育の授業では、集合時などはマスクを着用とするが、活動中はマスクを外してもよい。（大声を出したり、近くで友達と話したりしない。話し合い活動などはマスクをする。すぐに付けられるようポケットに入れておく。）体育の前後では、手洗い、うがい、消毒を徹底する。マスクを外して活動する場合は、人との距離をあげる。

○休み時間

- ・昼休みの外遊びは基本マスクを着用する。（軽めの運動やスポーツとする。）※熱中症が心配されるような天候の場合は連絡をする。
- ・友達との距離を考え行動する。休み時間の最後に手洗いをしてから教室に入る。
- ・近距離・対面での会話や大声での会話を控える。
- ・トイレで密にならない（たまらない）。トイレ後は必ず手洗いをする。

○合唱練習

- ・練習を行うときには、換気を行い、互いの距離をしっかりとあける。（前後左右1m以上）同じ方向を向いて歌う。
- ・練習を行うときには必ず先生に付いてもら。
- ・練習中は基本マスク着用で行う。※感染状況によって変更あり。

○下校時

- ・マスクについては、友達との会話がないうなら外してもよい。必要な時のために、ポケットにマスクは入れておく。自転車に乗るまではマスクをしたままとする。
- ・下校途中、立ち止まって話などしないでまっすぐ家に帰る。
- ・スクールバスを利用する人は、待っている間や乗車中はしゃべらない。

○部活動及び放課後の活動

- ・活動の始めと終わりには健康観察と手洗い・手指消毒を行う。
- ・感染予防をしながら実施する。
- ・室内部活は、換気をしっかりと行う。また、部室には一度に大人数が入らないようにする。
- ・複数の人が使用する道具は消毒する。
- ・大声を出しての活動は控える。（周りとの距離に気をつける）
- ・互いの距離が取れる場合は、マスクを外してもよいとするが、近くでの会話は控える。軽めの運動（活動）の時は、マスク着用で行う。朝練習後は、マスクをしてから移動する。
- ・顧問の先生の話やミーティングなどはマスク着用とする。（すぐに付けられるようポケットに入れておく。）
- ・練習試合等で昼食を挟む場合は、互いの距離をとって黙食とする。食べ終わったらすぐにマスクをする。
- ・文化部の活動については、授業中と同じ扱いでマスクをして行う。ただし、吹奏楽部の楽器演奏練習については、換気はもちろん、互いの距離や向きなど細かい配慮をしながら行う。互いに話をする場面では、マスクをする。

○その他

- ・PCR検査等を本人、家族が受ける場合には欠席する。結果が出るまで登校はしない。また、学校に連絡を入れる。休みの日でも校長の携帯電話まで連絡をする。
- ・体調が悪い場合（発熱・せき・のどの痛みなど）は、保健室へ。症状を診て対応する。
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ後や共有のものを触った後は手洗いを行う。
- ・使用したティッシュやマスクの処理は、教室にビニール袋を準備するので各自で行う。袋の入口を縛りゴミ箱に入れる。
- ・図書室の利用については、図書室の利用の決まりに沿って使用する。
- ・ハンカチやタオル、ティッシュを必ず各自持参する。
- ・休みの日の行動にも気を遣う。大勢が集まる場所は避け。飲食をする場合は、十分気をつける。
- ・仕事に行っている家族も職場にて十分感染症対策を行ってもらう。
- ・感染してしまった人やPCR検査を受ける人たち、また、医療従事者等への誹謗中傷や偏見は絶対にならないようにする。（間違った情報も含め、SNS等を使用してコロナに関する情報について発信や拡散など絶対にしないようにする。）